



柿木図書館実習報告

図書館名	柿木図書館
期 間	令和元 9 月 1 0 日 ~ 令和元年 9 月 1 2 日
学校・学年・人数	井草中学校 2 年 3 名
取り組んだ内容や感想など	<p>・ 書架整理、配本の処理、書架戻しなどが主な仕事でした。書架整理や書架戻しでは、分類番号を覚えることができ、図書館で本を探するとき今後も役立つだろうと思いました。また、順番を一つ一つ確認しながら利用者の方のことを考えてきれいに揃えるのは思っていたよりずっと大変で、これから先図書館を使うとき、もとあった場所に正しくきれいに置いておこうと感ずることができました。裏での苦勞を知れて、とても良い体験でした。</p> <p>・ 書架整理やお話会の読み聞かせなどを行わせていただきました。私は、図書館に行くと探していた本が当たり前のようにその場所にあたり、予約していた本は、来週になったら当たり前自分の手元に来る。でもそれは裏で図書館員の人たちが、とても多くのことをしているからだと気づかされました。また、絵本の読み聞かせを小さい子に向けてやったのは初めてでしたが、小さい子が少し興味を持ってくれていた様子だったので、うれしかったです。読み聞かせを地域ボランティアの人が行っているということを知って、誰かの協力があって、私も昔、母とお話会で本を読めたのだと今、分かりました。</p> <p>・ 書架整理や書架戻し、お話会、配本車処理、予約図書確保 ふだん利用している裏側を体験できて、将来のよい勉強になりました。それに、人とのコミュニケーションを大事にできたのでよかったです。</p>
【質問】「杉並の図書館について、どう思いますか？」	<p>・ 静かでいて館内もとてもきれい。必要な資料や本、雑誌を PC などの検索機を使ってすぐに見つけることができるし、在庫がなくても予約して取り寄せることができとても便利。季節ごとにイベントも異なりとても面白く、自分にとって居心地の良い場所だと思う。</p> <p>・ 自分が探している本がすぐに見つかるし、探している本でなくても、ステキな本に出合える場所。友達とお菓子作りをするときに、その本を借りに行ったり、友達にオススメの本を教えてもらったりと、いろいろなことを知ったり学んだり、何かをチャレンジするときなどにも、とても役立つ良いところだと思います。</p> <p>・ 蔵書が多く、読みたい本、調べたいことに関する本がすぐに見つかる場所が便利でいいなと思います。どこにどの本があるのか一目瞭然で使いやすく居心地がいいです。</p>

中高生のおすすめ
の本と推薦文。

・「コンビニ人間」 村田 沙耶香 著

芥川賞受賞作品。無機なものを好む主人公恵子は、30代独身フリーター。「普通」になれない恵子は、コンビニで「店員」として働いている時だけ、世界の部品になることができる。ある日、婚活目的のバイト男性白羽と出会う。白羽は、「世界から自分を隠してほしい」と恵子に頼む。だが、次第に変わりゆくコンビニの世界に違和感を感じる恵子だった。この本では、主人公の周りの人の気持ちもよく描かれている。誰もが「個」として自分を発揮できると分かった本。「普通」世の中のしくみをありありと描いた衝撃作。

・「リアル鬼ごっこ」 山田 悠介 著

ある国の王様、佐藤は、この国に佐藤という名字の人が多くいることに対し、自分以外の佐藤はいらないという思いで佐藤を消す計画を立てる。それは、一週間国全体で決められた時間、王様以外の佐藤 VS 国で派遣された鬼で鬼ごっこを行い、鬼から一週間逃げられた者はほうびがもらえ、捕まった者は処刑されるというもの。読んでいる間、自分が鬼から実際に逃げているような、ドキドキが味わえます。また、どうしても生き延びたいという思いからなる行動や“自分は死んでもいいから、あの人だけは絶対に生かしてあげたい”と思う友達同士の行動や会話にとっても心がひきつけられ、あっという間に全部読んでしまう夢中になれる本です。

・「桜風堂ものがたり 上・下」 村山 早紀 著

銀河堂書店文庫担当の月原一整。彼は万引きした少年を追いかけて悲劇をおこす。そのことに耐え切れなくなり店をやめる。そして、ネットで知り合った桜風堂書店の店主に会いに行く。そこで、入院中の店主から店長になってほしいと頼まれ、それを受け入れる。彼が見つけた「宝物」が奇跡を起こす。心温まる物語なので、ぜひ読んでみてください。